

北から 南から

19

コミュニティ

楽しい歩き感覚で
新たな魅力を発見！
FMくらしき

岡山県・倉敷市



大久保憲作 おおくぼ・けんさく
株式会社エフエムくらしき代表
取締役
1947年生まれ。家業は材木屋。
ヴィンテージラジオの蒐集が趣味。

FMくらしきは、一九九六年全国で五三番目に開局。以来十一年、地域の方々と熱意あるスタッフ、スポンサーに支えられ、元気に放送を続けている。FMくらしきの特徴は、徹底した地域密着性にある。FMくらしきが発信する情報は身近な話題ばかり、それが町の賑わいの原点だ。人の言葉や表情

はアナログそのもの、そのアナログ感を電波に乗せることが毎日の放送の課題だ。メディアを交通機関にたとえると、NHKは飛行機、ネット親局は新幹線、県域放送局はバスやマイカー、FMくらしきは自転車か徒歩だと思う。人はどこに行くにも、いろんな交通機関を利用するが、最後には歩いてこそ楽しいし、新たな魅力も発見できる。歩き感覚のコミュニティFMには、そんな特別の役割と責任がある。コミュニティFM局はマスメディアではない。人びとの暮らしに欠くことのできない要素を電波で提供する、暮らしのサービスマスターだ。だとすれば私たちの発信する情報・コンテンツは、コミュニティを上手に育てる大事な栄養素の一つになる。

コミュニティ放送局は、中世ヨーロッパのどの都市にもある教会の鐘楼と同じではないか。鐘の音が届く範囲が一つのコミュニティ。かつて、その鐘楼の鐘の音は、単に時を知らせるだけではなく、音の組み合わせや打ち手の独特の音色で町の、さまざまな情報を、喜びや明日への希望を、あるいは悲しみを伝えたという。はたしてFMくらしきを聞いている人びとが同じような気持ちを持って聞いているだろうか。街角の音や香り、人びとの息づかいが鐘の音ならぬ、電波から伝わっている

ファイル

株式会社エフエムくらしき (FMくらしき)

1996 (平成8) 年12月24日開局。周波数82.8MHz。

倉敷市と周辺市町が可聴エリア。

倉敷市と防災協定を結び、緊急告知FMラジオ「こくち」を開発。「小野須磨子のごこいちラジオ」をはじめ、地元で根ざした市民参加型の番組を放送中。

「拝、ポーズ!!」が第40回ギャラクシー賞のラジオ部門優秀賞を受賞。

〒710-8528 岡山県倉敷市白楽町520-28

☎086-430-0600 FAX086-430-0667

<http://www.fmkurashiki.com>

「小野須磨子のごこいちラジオ」



局舎

だろうか。ここに住んでよかった、子どもたちにもっといい町を残してあげようという未来への希望と生きる元気を感じて聞いているだろうか。コミュニティメディアは、そういうクオリティの放送をすべきなのだと思う。

時代が大きく変わり、今後ますますコミュニティメディアが注目され地域を担う主体としての役割が増す。倉敷でも二〇〇二年に二局のケーブルテレビ局とコミュニティFM局が連携し、倉敷コミュニティメディア (KCM) が誕生した。以来まちづくりや防災など地域の共通課題の解決に着実に対処している。〇七年度第四回ギャラクシー賞ではテレビ部門において倉敷ケーブルテレビが「くらしき百景」で特

別賞を受賞した。市民一人ひとりの心象風景をその方の「くらしき百景」として二年間にわたり丁寧取材したものに、ケーブルテレビ、コミュニティFM、それに地方新聞が連動し、メディアの特長を生かして同時に地域に伝えられたことが評価された。

これからの市民社会においては心あるコミュニティメディアが、民間が負担する公、いわゆる「新しい公共」の担い手として自らを捉え、社長も社員も率先して町づくりの現場、町の問題解決の場に出向き、それを自分自身の未来として主体的に関わっていくことが求められている。そこから発生するもの、それがコミュニティメディアの最強のコンテンツになるのだ。